

平成23年度実施協働事業 協働事業評価書

事業名：市民緑地「上谷津ふれあいの森」の維持・管理

団体名：上谷津ふれあいの森を守る会

担当課：環境課

評価者：協働推進懇話会（委員8名）

評価：○適当 △工夫が必要 ×改善しなければならない

■事業の評価（事業目的、問題解決の手法、事業の実施体制、年間スケジュール、事業継続性、協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【○7人 △1人】

- ・継続した活動により市民が身近に自然に感じることができる空間を維持している。
- ・里山研修会は、どんな成果が得られたかを説明できるように意識して実施してほしい。
- ・環境学習会の実施内容や成果が不明である。

■協働の評価（協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【○6人 △2人】

- ・環境課と協働して、今後も市民に自然保護の大切さを広めていただきたい
- ・他団体との交流も発生し、今後の地域活動の拡大が期待できる。
- ・会員以外の、近隣住民を含む市民の参加が、もう少しあると良い。

■自己評価の評価【○5人 △2人 ×1人】

- ・「上谷津ふれあいの森」の整備事業が主たる評価対象となっており、市民にとって満足できる整備内容なのかという観点からの検証が欠けている。

■総合評価（今後事業が発展するためのアドバイス）

- ・市内の類似団体との連携を図り、互いの優れた点を学び合って頂きたい。
- ・報告会で団体から提案のあったような、落ち葉を集めてのヤキイモなどを行うことで、子どもたちや親子が楽しめる場になるとともに、新たな担い手を確保する機会となるよう担当課の努力を期待したい。
- ・報告書の内容だけでは、両者の自己満足にとどまり、委託事業との違いがわかりにくい。
- ・実際に森を見た。放っていたら、雑草が生い茂り、決して上まで上がることはできない。しっかり整備されていて、住宅街の中にあるオアシスのようであった。甲虫の幼虫の飼育をされているようなので、飼育講座などしていただけるといいなと思う。
- ・事業の評価・協働の評価とも成果がでていると思う。
- ・今後は、事業や研修の成果報告等を市民により具体的に説明することで、ますます市民の理解が得られるものと思う。同様に、収支決算書の支出を、内訳毎に細目に分けて記載していただけると良いと思う。
- ・市民に対するイベント等を行い、市民サービスの向上に努めるべきと考える。
- ・急勾配であり維持管理の負担が大きい場所であるが、苗木の寄贈があったことや隣接地権者から理解を得ていることは、周囲からの評価が高い活動であると考えられる。今後、地域住民へのPRを進め、憩いの場として利用を促進することで活動の成果が上がることを期待したい。